



ダンボールで人形作り&人形劇を作ろう! あっ、そうだ! こうすれば...

2月12・13日 中央公民館

脚本、演出などを手掛け、人形劇文化を継承しようとして活躍している松本則子さんのワークショップが開催されました。

時間が経つにつれ、ダンボールからキリンやウサギ、恐竜などたくさんの動物たちが生まれてくる様子を見てみると、子どもたちの創造力と想像力は本当に無限大だな〜と感心。午後からは完成した動物たちが登場する人形劇も作りました。子どもたちの「したい」「やりたい」は満足できたかな?



ファミ・サポ10周年記念事例発表会 童謡&発表&座談会

支え 支えられて 10周年

2月9日 さん・さん

今年度、津山ファミリー・サポート・センターは10周年を迎えました。この10年間でファミ・サポの登録会員数は、当初の103人から964人に増加。みんなで子育てを楽しみ、支えあう「輪」が確実に広がっています。

和やかな雰囲気の中で行われた事例発表会では、依頼会員と提供会員が集い、親子で「雪」「雨コンコン」などの童謡を楽しんだ後、日頃の活動や経験談などを語りながら、情報を交換していました。

津山幼児音楽祭

温かい声援をありがとう

2月19日 津山文化センター

6つの保育所と4つの幼稚園、約250人の園児が参加した津山幼児音楽祭。踊りや銭太鼓、オペレッタ、合奏など、盛りだくさんの内容で発表が行われました。

園児たちは、日頃の練習の成果を見事に発揮。舞台狭しと踊る姿に自然と手拍子が起こり、大いに盛り上がりました。また合奏では、園児とは思えない完成度の高い演奏で人々を魅了。

我が子の成長に涙した保護者も多かったのではないのでしょうか。



「詩のボクシング」 in 津山大会

心に届け! 声と言葉の格闘技

2月13日 津山市総合福祉会館

ボクシングリングに見立てたステージ上で、2人の朗読ボクサーが交互に自作の詩を朗読し、どちらの声と言葉が観客（他者）の心に届いたかを判定する「詩のボクシング」。津山市出身の楠かつのりさんを講師に、今回初めて市内での大会が開催されました。

中学生たちは、友だちのこと、家族のこと、部活動のことなど、日々の身近な出来事から感じた思いを詩に託し、堂々とファイト。優勝は船引麻菜さん（北陵中2年生）でした。おめでとう!

沖縄国際映画祭・地域発信型映画『ホルモン女』ロケ

津山での上映をお楽しみに!

2月11~15日 市内各所



津山ホルモンうどんの誕生と広がりを描いた映画『ホルモン女』のロケが行われました。今月開催される沖縄国際映画祭で、自分のまちのすばらしさを伝え、地域の活性化につなげる「地域発信型映画」として上映されます。この映画には、主人公役の山下リオさん、山下さんの上司役として少年時代を津山で過ごした河本準一さん（お笑いコンビ・次長課長）が出演。河本さんの小学校時代の同級生で岡山市からロケを見に来た山下裕嗣さんは「津山市をアピールする映画に懐かしい同級生が出てくれてうれしい。津山を全国発信できるといいですね」と久しぶりの再会を喜んでいました。

津山での凱旋上映も予定されていますので、皆さん楽しみにしてください!

節分・豆まき

もういい子になったよ〜

2月3日 久米保育所

市内の各幼稚園、保育所、児童館などで行われる恒例の豆まき。久米保育所では、園庭向こうの山から赤鬼と青鬼が現れました!

園児たちは鬼の姿を見るや「ぎたー! ごわいよ〜! ギャー!」と大騒ぎ。先生の陰に隠れたり、室内を逃げ惑ったりしながら豆を投げ、目の前の鬼と自分の心の鬼を追い払いました。

「いい子になったか〜」と言う鬼に「もういい子になったから帰ってください〜い」と叫ぶ子どもたち。なんとも可愛らしい姿に、鬼たちはすぐと帰っていきました。



自殺予防講演会「夜回り先生 ころの授業」

人はなぜ苦しむのか

1月23日 ベルフォーレ津山

長年、高校教師として勤務し、深夜の繁華街のパトロールを続け「夜回り先生」と呼ばれるようになった水谷修さん。「いのちの大切さひとりひとりの大切さ」と題した講演の中で、非行や薬物汚染、リストカットなど子どもたちが置かれている現状を伝え、その中で苦しみ、叫び、助けを求めている子どもたちの姿を浮かび上がらせました。「認められる」ということが子どもたちの人生を作っていくうえでどれほど大切なことか、改めて考えさせられた講演でした。